

## 「ありがとう」を姿で示せる子に！

令和5年度の始業式と入学式は警報が出そうな大雨の中で挙行了しました。始業式の話の中で「雨はいろんなものを洗い流したり、整えたりしてくれます。不安な嫌だなという気持ちは洗い流して、がんばろうという気持ちを整えましょう」という話をしました。子どもたちにも、いろんなことにきちんと意味があることを考えられるようになってもらいたいと願っております。

前任の校長先生もされていましたが、できる限り見守り隊や保護者の旗当番の方達と一緒に東深瀬の地下道や西深瀬のなわて橋の西のところで子どもたちの登校の様子を見届けるようにしています。毎朝、学校までの長い距離を子どもたちと一緒に歩いていただける見守り達の皆さんや保護者の皆さんのおかげで子どもたちの安全を守られていることに感謝申し上げます。

そんな皆様に守られている子どもたちには「自分と人を大切にできる力」を高めてほしいという話をしました。そのために、まず実践してほしいのが「あいさつ」です。あいさつは“私はあなたのことを大切にしていますよ”という気持ちのバロメーターです。登校時の子どもたちの様子を見て、感心したのは見守り隊の方へのあいさつです。その日の体調や気分によって、子ども達が表出できる「ありがとう」の姿は違いますが、見守り隊や旗当番の保護者の皆さんへの感謝の気持ちはよく伝わってきます。さらに感心したのは、横断歩道で止まってくれたドライバーの方へきちんとお辞儀ができる子もいます。きっと、見守り隊や保護者の皆様の姿から学んだ行動だと思います。「人から優しくされるよりも自分が優しくした時の方が感じる幸福度の方がはるかに高い！」と聞いたことがあります。車のドライバーさんが止まってくれた優しさに対して、感謝の気持ちをきちんと示すことができれば、次も同じような場面で必ず止まってくれるはずです。子どもたちの姿が大人の幸せにつながっているのです。そしてその優しさは必ず広がっていきます。

富岡小学校は明治6年に創立された育文舎から数えて、今年で創立150周年を迎えます。今年はその記念事業がたくさん予定されています。その記念事業を行うために地域の方々をはじめ、これまで富岡小学校に関わっていただいた多くの方から協賛金をいただきました。その協賛金を活用して記念横断幕を作成させていただきましたので紹介させていただきます。また、5月2日(火)には記念講演会の第1弾として、富岡小学校出身の陸上競技のアスリートである新木詩乃さんをお招きして、子どもたちが走ることの楽しさを学ぶワークショップを開催します。



横断幕① 南舎正面玄関上

### 横断幕に込められた願い

- 横断幕① 子ども達、保護者の皆様、地域の方々、富岡小に関わっていただくすべての方に向けて  
横断幕② 山県市を訪れた方に向けて



横断幕② 北舎2階 西側ベランダ